

当院の COVID-19 に対する感染対策の現状

◎高木 奈穂¹⁾、楠原 大輝¹⁾、津田 昌和¹⁾
社会医療法人 青洲会 福岡青洲会病院¹⁾

《はじめに》

COVID-19感染症に対し、検査体制や、感染対策の取り組みを当院 ICT と共に、経時的に見直しを行ってきた。今回は、当院においての約2年間の検査体制や感染対策の取り組みについて、特に検査室が関わってきたことについて紹介する。

《方法》

- ① 2020年10月より COVID-19 抗原定量検査を開始した。検査に関しては細かいマニュアルを作成し、検査を行う全てのスタッフが同じ工程で進められる様工夫した。
- ② 入院時スクリーニング検査や発熱者外来に対する検査対応の為、土、日祝日の日勤者と夜勤者をそれぞれ1名増員した。
- ③ 中央採血室、および外来処置室では一人の採血毎に、採血台や採血で使用した物品を環境フロスにて清拭した。
- ④ 生理検査室においては、1検査毎に環境フロスにて環境整備を行った。整備後、各部屋の入り口に終わった事

がすぐに分かるよう、マグネットで目印をつけた。

- ⑤ 8時30分、17時00分に全館放送にてアナウンスを行い、各部署、待合室等の環境整備を行った。
- ⑥ 食事は必ず一人で摂るようにした。

《考察・結果》

コロナ禍以前よりは、職員の感染対策意識が高くなった。まだ続くであろう COVID-19 への対策でもあるが、他の感染症や耐性菌対策に役立つことなので、今後も継続していきたい。

連絡先:092-939-0010(代表)